

瀬戸内町告示第 26 号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により、平成25年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成25年11月1日

瀬戸内町長 房 克臣

平成25年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 平成24年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成25年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様に町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成24年度決算及び平成25年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況は、平成24年度決算において、一般会計は度重なる災害復旧事業費の増大により決算総額が増加しました。また、歳入において前年度に比べ、依存財源の占める割合が増加しました。特別会計は国保会計を除く全会計で黒字化を達成するなど、連結赤字の解消においては一定の成果をあげましたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては、国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成25年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な中であって、財政指標の健全化、財政基盤の強化により持続可能な町づくりを実現するため、自主財源の割合の増加、地方債発行と返済のバランス、財政調整基金等の確保に努めてきました。

平成25年度下半期の予算配分や新年度予算については、まだ残る災害からの復旧事業に加え、現在策定中の長期振興計画（後期基本計画H26～H30）において文化ホール建設をはじめとする大型建設事業が計画されているなど、今後多額の費用が必要になると試算されており、地方債の発行額が返済額を上回り再び借金体質の財政運営になるのではと懸念されています。

奄美群島本土復帰が60年目を迎え、奄美群島ではさらなる成長戦略ビジョンがスタートする中、今後もさらに町民とともに地理的・歴史的独自性を発揮した魅力ある町づくりを実現するために今何をすべきかを長期的な視点から捉え、限られた財源で最大限の効果をあげていきたいと考えています。

1 平成24年度決算のあらまし

(1) 概 要

平成24年度決算は、昨年度に引き続き、災害復旧費の増大などにより前年度に比べ大きく増額となっています。一般会計と各特別会計の総決算収支(公営企業の水道事業を除く)において、歳入総額14,422,966千円に対し、歳出総額14,002,923千円で、差し引き420,043千円の黒字となりました。また、翌年度へ繰り越すべき財源68,261千円を差し引いた実質収支額も351,782千円となり、対前年度比でも118,029千円の増額となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

平成24年度一般会計歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 11,857,158 千円に対し、歳入10,078,125千円、歳出 9,629,368 千円となり、前年度に比べ歳入で 648,593 千円、6.9%の増、歳出で768,823 千円、8.7%の増となりました。

決算収支は、歳入歳出差し引き 448,757 千円の黒字で、翌年度へ繰り越すべき財源 68,261 千円を差し引いた実質収支も 380,496 千円の黒字となっています。また、実質収支額から平成23年度の実質収支額538,475千円を差し引いた平成24年度の単年度収支額は157,979千円の赤字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金372,037千円を加え、財政調整基金の取崩額287,238千円を差し引いた、実質単年度収支額も73,180千円の赤字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項 目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	10,078,125	9,629,368	448,757	68,261	380,496	△ 157,979
23年度	9,429,532	8,860,545	568,987	30,512	538,475	21,693
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	372,037	0	287,238		△ 73,180	
23年度	305,506	0	249,216		77,983	

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 344,307千円に対し、歳入305,135千円、歳出 300,621千円、差し引き 4,514千円の黒字となっています。

単年度収支についても 28,613千円の黒字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項 目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年 度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	305,135	300,621	4,514	0	4,514	28,613
23年度	291,378	315,477	△ 24,099	0	△ 24,099	51,649
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0	0		28,613	
23年度	0	0	0		51,649	

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,963,238 千円に対し、歳入 1,802,697 千円、歳出 1,908,023 千円、差し引き 105,326 千円の赤字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の赤字となっています。主な要因は、療養給付費及び前年度繰上充用金によるものです。なお、単年度収支については 167,845 千円の黒字となっており主な要因は、赤字解消10カ年計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

次に、国民健康保険直営診療勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 19,880 千円に対し、歳入 20,863 千円、歳出 17,216 千円で、差し引き 3,647 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。なお、単年度収支については 1,808 千円の赤字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	1,802,697	1,908,023	△ 105,326	0	△ 105,326	167,845
23年度	1,746,002	2,019,173	△ 273,171	0	△ 273,171	178,633
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0		0	167,845	
23年度	0	0		0	178,633	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	20,863	17,216	3,647	0	3,647	△ 1,808
23年度	25,834	20,379	5,455	0	5,455	△ 265
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0		0	△ 1,808	
23年度	0	0		0	△ 265	

4). 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度から設置された後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 113,151 千円に対し、歳入 112,345 千円、歳出 110,413 千円、差し引き 1,932 千円の黒字となっている。単年度収支についても 624 千円の黒字となっている。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	112,345	110,413	1,932	0	1,932	624
23年度	111,413	110,105	1,308	0	1,308	110
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0	0		624	
23年度	0	0	0		110	

5). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 1,475,167 千円に対し、歳入 1,489,086 千円、歳出 1,444,874 千円、差し引き 44,212 千円の黒字となっています。黒字の主な要因は国・県支出金、一般会計繰入金の増によるものです。

なお、単年度収支についても 12,658 千円の黒字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	1,489,086	1,444,874	44,212	0	44,212	12,658
23年度	1,458,293	1,426,739	31,554	0	31,554	△ 3,228
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0	0		12,658	
23年度	0	0	0		△ 3,228	

6). と畜場事業特別会計

と畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 2,785 千円に対し、歳入・歳出同額の 2,354 千円となっています。歳出の主なものは、総務管理費の賃金や営業費の中の需用費等(電気料・水道料・修繕費・燃料費)です。

(単位 : 千円)

と畜場事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
24年度	2,354	2,354	0	0	0	0	0	0
23年度	2,100	2,100	0	0	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I			
24年度	0	0	0		0			
23年度	0	0	0		0			

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 323,552 千円に対し、歳入 322,342 千円、歳出 311,450 千円、差し引き 10,892 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっており、累積赤字を解消しました。

なお、単年度収支についても 66,143 千円の黒字となっており、主な要因は、フェリーボート収入の増、人件費の減のほか、経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

歳出の主なものは、総務管理費として 21,624 千円、せとなみ費として 96,194 千円、フェリーボート費として 110,517 千円、公債費として 25,299 千円となっています。歳入では、せとなみ・フェリーボート運航収入として 133,125 千円、国・県補助金として 112,407 千円、その他一般会計からの繰入金や収入等 76,810 千円となっています。

(単位 : 千円)

船舶交通事業特別会計								
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支		単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D	E	
24年度	322,342	311,450	10,892	0	0	10,892	66,143	
23年度	288,899	344,150	△ 55,251	0	0	△ 55,251	22,137	
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I			
24年度	0	0	0		66,143			
23年度	0	0	0		22,137			

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 4,018 千円に対し、歳入 4,015 千円、歳出 2,440 千円、差し引き 1,575千円の黒字となっています。黒字の主な要因は、上屋使用料、諸収入及び繰越金によるものです。なお、単年度収支については491千円の赤字となっています。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	4,015	2,440	1,575	0	1,575	△ 491
23年度	4,607	2,541	2,066	0	2,066	△ 592
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0		0	△ 491	
23年度	0	0		0	△ 592	

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 27,317 千円に対し、歳入 29,363 千円、歳出 26,647 千円で、差し引き 2,716 千円の黒字となっています。翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。主な要因は、施設維持管理費の減、使用料収入(滞納繰越分)の増のほか、計健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
24年度	29,363	26,647	2,716	0	2,716	1,489
23年度	28,087	26,860	1,227	0	1,227	△ 583
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0		0	1,489	
23年度	0	0		0	△ 583	

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ 267,505 千円に対し、歳入 256,641 千円、歳出 249,517 千円となり、差し引き 7,124 千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支でも同額の黒字となっています。なお、単年度収支についても934 千円の黒字となっており、主な要因は経営健全化計画に基づく一般会計からの基準外繰入金によるものです。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引		翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C	D	C-D E	F
24年度	256,641	249,517	7,124		0	7,124	934
23年度	243,839	237,649	6,190		0	6,190	30,518
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
24年度	0	0			0	934	
23年度	0	0			0	30,518	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額 164,564 千円に対し決算額 164,417千円、支出予算額 159,187 千円に対し決算額 151,986 千円となり、差し引き 12,431 千円の当年度純利益が生じていますが、損益計算書での当年度純利益 12,237 千円との差額 194 千円は、消費税相当分です。

一方、資本的収支においては、収入予算額 22,741 千円に対し決算額 25,739 千円、支出については、予算額80,554 千円に対し決算額 66,217 千円となり、差し引き 40,478 千円の収入不足となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、過年度分損益勘定留保資金 10,021 千円、当年度分損益勘定留保資金 30,254 千円及び当年度分消費税資本的収支調整額 203 千円を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差引	資本的収入	資本的支出	差引
24年度	164,417	151,986	12,431	25,739	66,217	△ 40,478
23年度	164,592	163,030	1,562	22,450	68,401	△ 45,951

(3) 一般会計歳入の状況

平成24年度一般会計の歳入決算額は 10,078,125千円で前年度に比べ6.9%の増となっている。

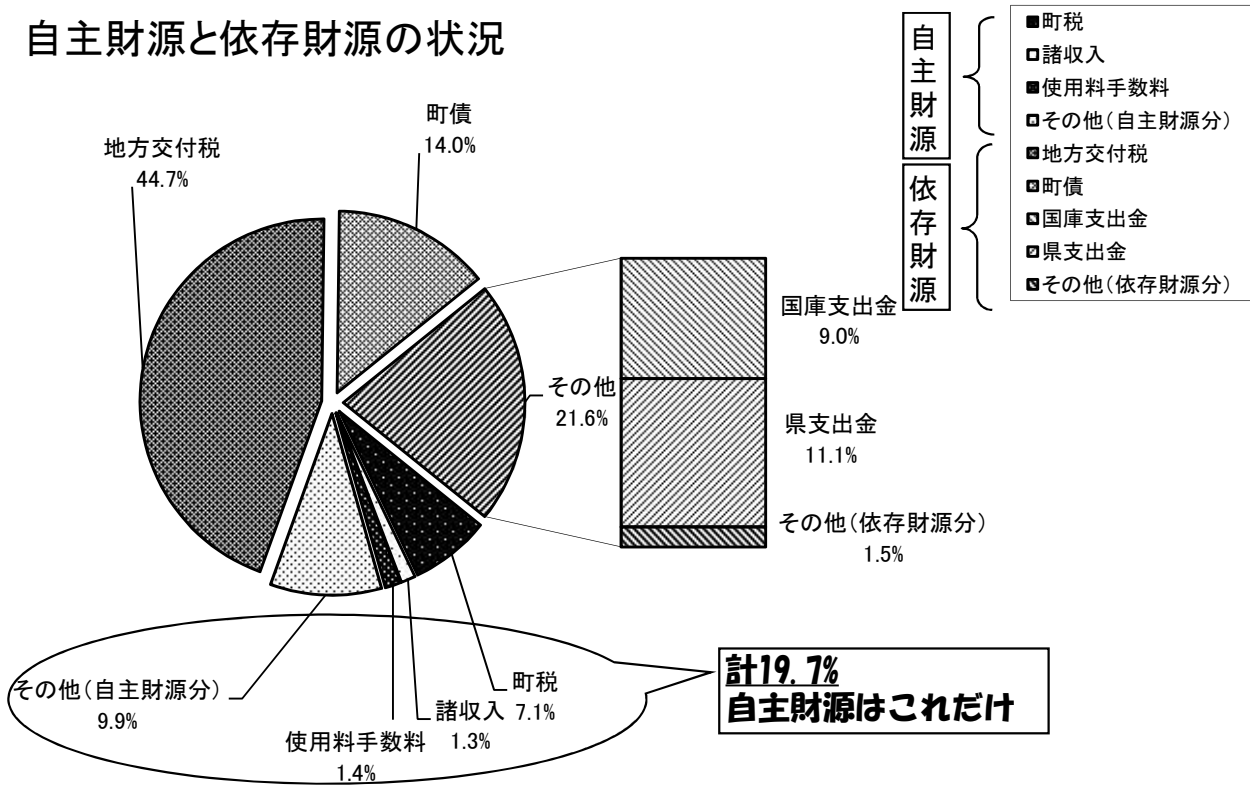
また、歳入を財源別にみると、自主財源(町税、使用料及び手数料、繰入金等)が 1,986,151 千円で19.7%、依存財源(地方交付税、国庫支出金、町債等)が 8,091,974 千円で80.3%となっており、自主財源が前年度に比べ0.8%の減、依存財源が前年度に比べ0.8%の増となっており、依存財源のしめる割合が増加している。

(歳入決算目的別内訳)

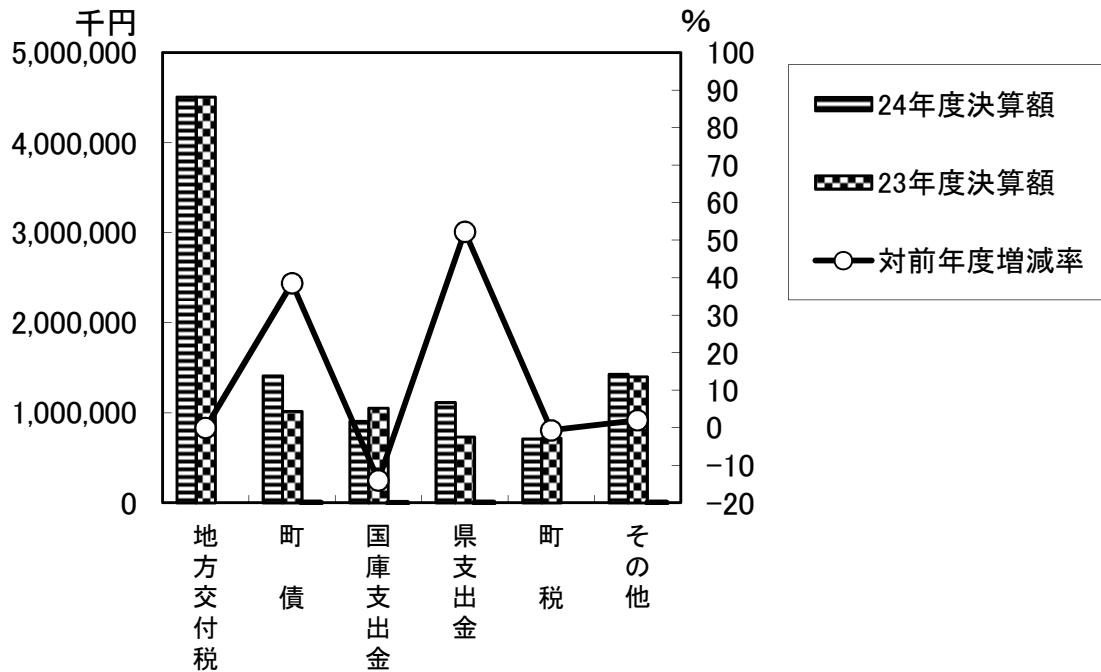
(単位:千円, %)

歳入区分	平成24年度		平成23年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	713,360	7.1	718,226	7.6	△ 4,866	△ 0.7
2 地 方 譲 与 税	58,495	0.6	61,831	0.7	△ 3,336	△ 5.4
3 利 子 割 交 付 金	1,180	0.0	1,597	0.0	△ 417	△ 26.1
4 配 当 割 交 付 金	704	0.0	1,018	0.0	△ 314	△ 30.8
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	163	0.0	159	0.0	4	2.5
6 地 方 消 費 税 交 付 金	80,109	0.8	83,011	0.9	△ 2,902	△ 3.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	9,469	0.1	7,631	0.1	1,838	24.1
8 地 方 特 例 交 付 金	1,105	0.0	20,586	0.2	△ 19,481	△ 94.6
9 地 方 交 付 税	4,508,955	44.7	4,510,244	47.8	△ 1,289	△ 0.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,696	0.0	1,795	0.0	△ 99	△ 5.5
11 分 担 金 及 び 負 担 金	45,985	0.5	33,030	0.4	12,955	39.2
12 使 用 料 及 び 手 数 料	136,224	1.4	144,909	1.5	△ 8,685	△ 6.0
13 国 庫 支 出 金	905,287	9.0	1,052,911	11.2	△ 147,624	△ 14.0
14 県 支 出 金	1,113,684	11.1	731,389	7.8	382,295	52.3
15 財 産 収 入	44,906	0.4	49,660	0.5	△ 4,754	△ 9.6
16 寄 付 金	22,601	0.2	14,070	0.1	8,531	60.6
17 繰 入 金	317,873	3.2	265,606	2.8	52,267	19.7
18 繰 越 金	568,987	5.6	547,523	5.8	21,464	3.9
19 諸 収 入	136,215	1.3	165,701	1.8	△ 29,486	△ 17.8
20 町 債	1,411,127	14.0	1,018,635	10.8	392,492	38.5
歳 入 合 計	10,078,125	100.0	9,429,532	100.0	648,593	6.9

自主財源と依存財源の状況



平成24年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

平成24年度一般会計の歳出決算額は9,629,368千円で前年度に比べ8.7%増となっている。

また、歳出額を性質別にみると義務的経費(人件費、扶助費、公債費等)が3,490,954千円で36.3%、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費等)が2,889,920千円で30.0%、その他(物件費、補助費、維持補修費、繰出金等)が3,248,494千円で33.7%となっており、それぞれ前年度に比べ4.4%減、36.3%増、5.2%増となっている。

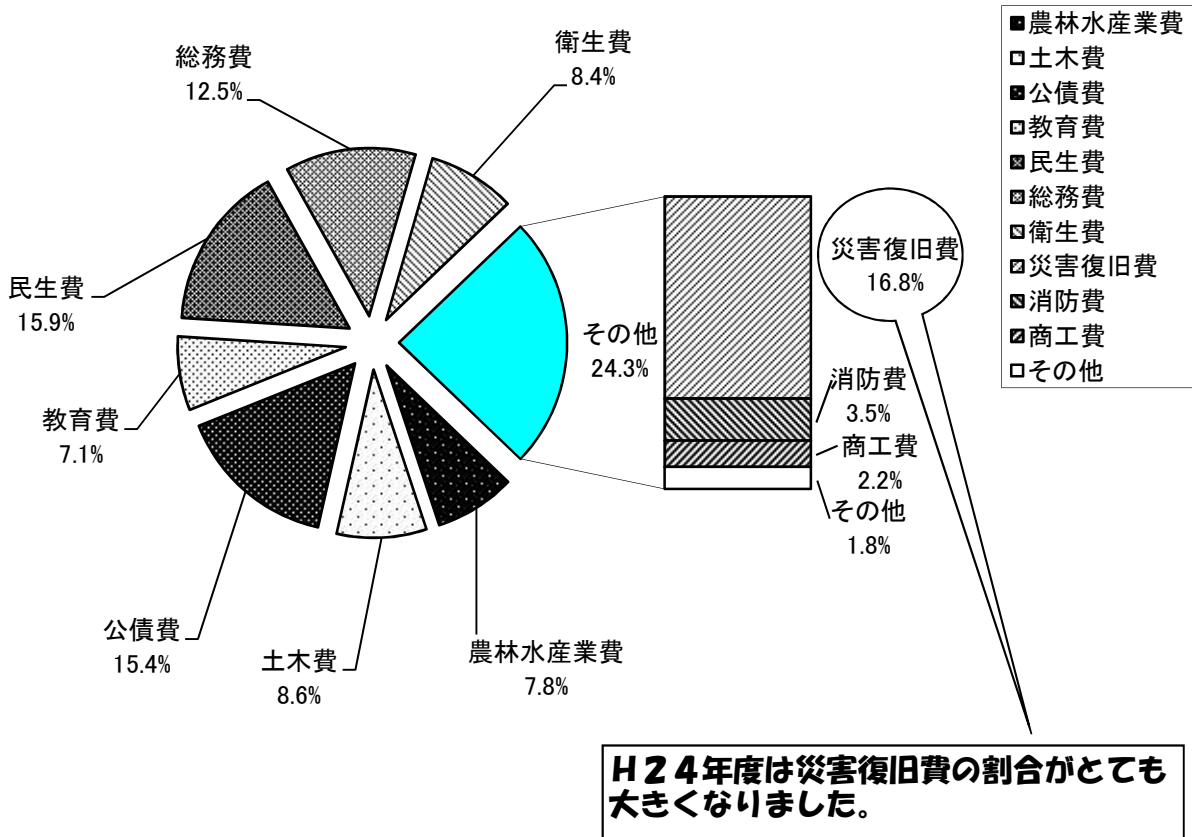
また、目的別の歳出額については下表のとおりとなっている。

(歳出決算目的別内訳)

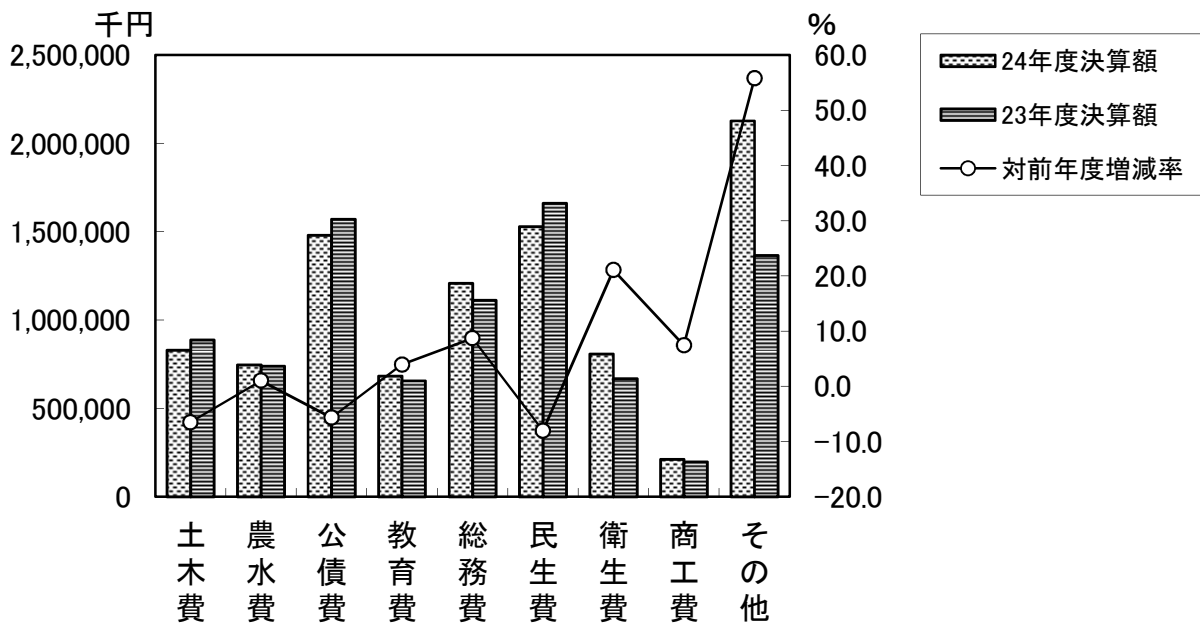
(単位:千円, %)

歳出区分	平成24年度		平成23年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議会費	94,852	1.0	102,657	1.2	△ 7,805	△ 7.6
2 総務費	1,208,319	12.5	1,111,364	12.5	96,955	8.7
3 民生費	1,528,902	15.9	1,661,999	18.8	△ 133,097	△ 8.0
4 衛生費	808,733	8.4	667,887	7.6	140,846	21.1
5 労働費	8,513	0.1	8,378	0.1	135	1.6
6 農林水産業費	747,307	7.8	739,659	8.4	7,648	1.0
7 商工費	212,153	2.2	197,479	2.2	14,674	7.4
8 土木費	830,550	8.6	888,243	10.0	△ 57,693	△ 6.5
9 消防費	336,613	3.5	532,072	6.0	△ 195,459	△ 36.7
10 教育費	683,824	7.1	657,840	7.4	25,984	3.9
11 災害復旧費	1,615,457	16.8	674,726	7.6	940,731	139.4
12 公債費	1,481,535	15.4	1,570,232	17.7	△ 88,697	△ 5.6
13 諸支出金	72,610	0.7	48,009	0.5	24,601	51.2
14 予備費						
歳出合計	9,629,368	100.0	8,860,545	100.0	768,823	8.7

平成24年度一般会計目的別経費の状況



平成24年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

町債は、道路や港湾施設等、住民が長期にわたって恩恵を受ける施設等の建設財源として、町が借り入れる長期借入金であるが、その借り入れ、償還の状況は次の通りとなっている。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	平成23年度 末現在高 A	平成24年度 発行額 B	平成24年度償還 額 C	平成24年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	10,964,724	1,411,127	1,331,738	11,044,113
(特別会計)	1,300,128	108,600	106,039	1,302,689
巡 回 診 療	79,190	46,400	6,176	119,414
国 保 直 診	1,344	0	1,170	174
船 舶	78,730	0	25,023	53,707
上 屋	28,673	0	1,349	27,324
農業集落排水	162,915	0	15,541	147,374
簡 易 水 道	949,276	62,200	56,780	954,696
合 計	12,264,852	1,519,727	1,437,777	12,346,802

上 水 道	822,823	0	760,869	61,954
-------	---------	---	---------	--------

2 平成25年度上半期財政運営のあらまし

平成25年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成25年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	7,531,712	831,879	8,363,591	66.0
(特別会計)	4,370,953	△ 65,582	4,305,371	34.0
巡回診療	311,120	△ 20,150	290,970	2.3
国保事業	1,828,605	△ 92,459	1,736,146	13.7
国保直診	20,052		20,052	0.2
後期高齢	114,382	1,932	116,314	0.9
介護保険	1,472,752	48,479	1,521,231	12.0
と畜場	2,327		2,327	0.0
船舶	280,393	△ 16,382	264,011	2.1
上屋	3,491	36	3,527	0.0
農業集落排水	21,797	2,715	24,512	0.2
簡易水道	316,034	10,247	326,281	2.6
合計	11,902,665	766,297	12,668,962	100.0

上水道事業	平成25年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	169,744	0	169,744
収益的支出	161,743	7,994	169,737
資本的収入	2	0	2
資本的支出	46,970	0	46,970

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円、%)

会計別	平成25年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	713,497		713,497	8.5
地 方 譲 与 税	58,001		58,001	0.7
利 子 割 交 付 金	1,500		1,500	0.0
配 当 割 交 付 金	1,000		1,000	0.0
株式等譲渡所得割交付金	150		150	0.0
地方消費税交付金	83,000		83,000	1.0
自動車取得税交付金	7,600		7,600	0.1
地方特例交付金	1,100		1,100	0.0
地方交付税	3,917,568		3,917,568	46.8
交通安全対策特別交付金	2,050		2,050	0.0
分担金及び負担金	41,105	685	41,790	0.5
使用料及び手数料	135,900	1,813	137,713	1.6
国庫支出金	754,779	△ 23,063	731,716	8.7
県 支 出 金	468,853	306,301	775,154	9.3
財 産 収 入	41,226		41,226	0.5
寄 付 金	3		3	0.0
繰 入 金	8,010	61,146	69,156	0.8
繰 越 金	1	380,495	380,496	4.5
諸 収 入	67,169	△ 2,438	64,731	0.8
町 債	1,229,200	106,940	1,336,140	16.0
合 計	7,531,712	831,879	8,363,591	100.0

(歳出)

(単位:千円、%)

会計別	平成25年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	92,630	3,128	95,758	1.1
総 務 費	693,277	321,019	1,014,296	12.1
民 生 費	1,429,470	45,796	1,475,266	17.6
衛 生 費	527,695	25,563	553,258	6.6
労 働 費	8,647	141	8,788	0.1
農 林 水 産 業 費	579,999	267,283	847,282	10.1
商 工 費	346,247	14,864	361,111	4.3
土 木 費	1,133,101	△ 11,635	1,121,466	13.4
消 防 費	364,999	11,131	376,130	4.5
教 育 費	701,016	47,978	748,994	9.0
災 害 復 旧 費	201,910	106,611	308,521	3.7
公 債 費	1,412,580		1,412,580	16.9
諸 支 出 金	20,141		20,141	0.2
予 備 費	20,000		20,000	0.2
合 計	7,531,712	831,879	8,363,591	100.0

(2) 予算の執行状況

平成25年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (25年9月30日現在) (単位:千円、%)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	8,363,591	4,112,718	49.2	8,363,591	2,632,180	31.5
(特別会計)	4,305,371	1,539,372	35.8	4,305,371	1,757,273	40.8
巡回診療	290,970	95,493	32.8	290,970	127,339	43.8
国保事業	1,736,146	652,182	37.6	1,736,146	810,499	46.7
国保直診	20,052	7,514	37.5	20,052	5,646	28.2
後期高齢	116,314	26,021	22.4	116,314	24,497	21.1
介護保険	1,521,231	639,488	42.0	1,521,231	607,038	39.9
と畜場	2,327	303	13.0	2,327	1,333	57.3
船舶	264,011	76,979	29.2	264,011	116,265	44.0
上屋	3,527	1,788	50.7	3,527	1,468	41.6
農業集落排水	24,512	6,241	25.5	24,512	11,526	47.0
簡易水道	326,281	33,363	10.2	326,281	51,662	15.8
合計	12,668,962	5,652,090	44.6	12,668,962	4,389,453	34.6

(単位:千円、%)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	169,744	72,917	43.0	169,737	48,501	28.6
資本的収支	2	0	0.0	46,970	15,599	33.2

平成25年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	713,497	412,334	57.8
地 方 譲 与 税	58,001	16,036	27.6
利 子 割 交 付 金	1,500	629	41.9
配 当 割 交 付 金	1,000	209	20.9
株式等譲渡所得割交付金	150	0	0.0
地方消費税交付金	83,000	46,064	55.5
自動車取得税交付金	7,600	2,771	36.5
地方特例交付金	1,100	1,021	92.8
地方交付税	3,917,568	2,968,486	75.8
交通安全対策特別交付金	2,050	839	40.9
分担金及び負担金	41,790	9,628	23.0
使用料及び手数料	137,713	63,465	46.1
国庫支出金	731,716	96,278	13.2
県 支 出 金	775,154	72,521	9.4
財 産 収 入	41,226	16,231	39.4
寄 付 金	3	10,608	353600.0
繰 入 金	69,156	0	0.0
繰 越 金	380,496	380,496	100.0
諸 収 入	64,731	15,102	23.3
町 債	1,336,140	0	0.0
歳 入 合 計	8,363,591	4,112,718	49.2

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	95,758	51,963	54.3
総 務 費	1,014,296	358,305	35.3
民 生 費	1,475,266	439,339	29.8
衛 生 費	553,258	185,950	33.6
労 働 費	8,788	4,344	49.4
農 林 水 産 業 費	847,282	185,683	21.9
商 工 費	361,111	100,857	27.9
土 木 費	1,121,466	87,880	7.8
消 防 費	376,130	178,294	47.4
教 育 費	748,994	291,708	38.9
災 害 復 旧 費	308,521	38,091	12.3
公 債 費	1,412,580	709,766	50.2
諸 支 出 金	20,141	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	8,363,591	2,632,180	31.5

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	275.94	0.00
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,294.93	30,304.08
計		486,518.39	115,277.05

(2) 普通財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

建 物		2,310.60
土 地	宅 地	58,637.21
	田	3,480.00
	畑	11,401.78
	原 野	4,494,617.83
	山 林	6,856,528.00
	雑種地	81,925.96
	墓 地	78,817.90
	保安林	755,327.37
計		12,343,046.65

林 野	12,106,473.20
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株券	12,440

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	321,576

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	5
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	13
小 型 貨 物	9
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	18
特 殊 用 途 車	11
大 型 特 殊 車	16
軽 (四 輪 貨 物)	28
軽 (四 輪 乗 用)	17
船 舶	3
原 付	3
合 計	128

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 444,327
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 115,056
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 726
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 13,109
	債 権 18,295
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 29,986
	物 品 41,295
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 4
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 19,061
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 35,081
	債 権 8,660
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 24,741
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 20,914
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 5,391
	物 品 4,613
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 3,000
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 2,823
計	832,325

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
と畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	16,631.48	2,075.11

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	2隻(279.00トﾝ)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
と畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	16,631.48	2,075.11

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	6台	

iii) 基 金 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	8,480
介護従事者処遇改善臨時特例基金	0
計	8,702